

記入例

別記様式第三号（第四条関係）

選任した業務主任者の氏名を記入

同じ者が業務主任者と遊漁船業者を兼ねている場合は、自らが証明者となる。

実務経験証明書

（高知 次郎）は、遊漁船業に関し、下記のとおり一年以上の実務経験を有することに相違ないことを証明します。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

遊漁船業者の氏名を記入

法人の場合は「会社の名称」、
「代表者の職・氏名」

証明者 高知 太郎

遊漁船業者の氏名、遊漁船業者の登録番号を記入

電話番号（088）－ 821 － 4608

使用者である遊漁船業者の氏名又は名称 (遊漁船業者の登録番号)	業務の形態 (船釣り、瀬渡し等)	業務を実施した海面等	実務経験の期間
高知 太郎 (高知県第〇〇〇〇号)	船釣り	〇〇沖 〇〇漁港周辺	平成20年7月10日 から 令和6年4月20日 まで
合計期間			満 15 年 9 ヵ月 日

1年以上

備考

- この証明書は、被証明者1人について、証明者別に作成すること。
- 船舶職員及び小型船舶操縦者法（昭和26年法律第149号）に基づく海技免状又は小型船舶操縦免許証の写し及び第14条第1項第3号に基づく修了証明書の写しを添付すること。

記入例

初めて業務主任者になる場合は、遊漁船業務主任者として1年以上の実務経験を有する者のもとで、業務形態ごとに30日以上（1日5時間以上）の実務研修を受けること。

実務研修証明書

選任した業務主任者の氏名を記入

（ 高知 次郎 ）は、遊漁船業に関し、下記のとおり30日以上の実務研修を修了したことに相違ないことを証明します。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

業務形態（船釣り、瀬渡し等）ごとに異なる遊漁船業者のもとで研修を行った場合は、それぞれの業者から証明を受けてください。

遊漁船業者の氏名を記入
法人の場合は「会社の名称」、
「代表者の職・氏名」

証明者 高知 太郎

電話番号（088）－ 821 － 4608

実務研修を指導した遊漁船業務主任者の氏名（遊漁船業務主任者を選任した遊漁船業者名及び登録番号）	業務の形態（船釣り、瀬渡し等）	実務研修を実施した海面等	実務研修を実施した期間（1日につき5時間以上）
高知 太郎 (高知県第〇〇〇〇号)	船釣り	〇〇沖	令和6年3月1日 から 令和6年3月31日 まで
高知 太郎 (高知県第〇〇〇〇号)	体験漁業	〇〇漁港周辺	令和6年4月1日 から 令和6年4月30日 まで
(遊漁船業者の氏名、遊漁船業者の登録番号を記入)			年 月 日 から 年 月 日 まで
合計期間			満 60 日
			業務形態（船釣り、瀬渡し、体験漁業）ごとに 30日以上 1日5時間以上

備考

- この証明書は、被証明者1人について、証明者別に作成すること。
- 船舶職員及び小型船舶操縦者法（昭和26年法律第149号）に基づく海技免状又は小型船舶操縦免許証の写し及び第14条第1項第3号に基づく修了証明書の写しを添付すること。
- 実務研修の実施基準は別途農林水産大臣が定める。